

## 【別添資料2 ルーブリック】

項目		評価基準			
		S (期待以上に満足できる)	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
① 知識 ・ 技能	ア 既習事項との 関連	本単元の内容と既習事項とを複数の項目で結び付けて、理解している。	本単元の内容と既習事項とを結び付けて、理解している。	本単元の内容を理解しているが、既習事項と結び付けられていない。	本単元の内容の理解が不十分で、既習事項と結び付けられていない。
	イ 誤差の取扱と測定方法	誤差の原因を妥当な考えを示して実験を行い、正確に測定している。	誤差の原因を考えながら実験を行い、正確に測定している。	誤差の原因を考えていないが、他の支援を受けて正確に測定している。	他の支援を受けても正確に測定していない。
② 思考 ・ 判断 ・ 表現	ア 規則性の気付き (物体と床との衝突 実験)	落とす高さや跳ね返った高さの比が一定であることを自ら見だし、その理由についても深く考えている。	落とす高さや跳ね返った高さの比が常に一定であることを自ら見だしている。	落とす高さや跳ね返った高さの比が常に一定であることを他の支援を受けて気付いている。	他の支援を受けても落とす高さや跳ね返った高さの関係を気付いていない。
	イ 変化の原因 (物体と床との衝突 実験)	比が一定になることについて、力学的エネルギーの観点から考え、説得力をもった表現をしている。	比が一定になることについて、力学的エネルギーの観点から考え、表現している。	比が一定になることについて、他の支援を受けて力学的エネルギーの観点から考え、表現している。	比が一定になることについて、他の支援を受けても表現できていない。
③ 主 取 り 的 組 に む 学 習 度 に	ア 日常生活と関連付けた こと	学習した内容を、日常生活と関連付け、文章として表現し、他の生徒に説明できている。	学習した内容を、日常生活と関連付け、文章として表現している。	学んだ内容を、日常生活と関連付け、語句で表現できている。	学んだ内容を、日常生活と関連付けられず、表現できていない。
	イ 疑問に思ったこと	他の生徒が挙げた疑問点についても、物理的な視点で深く考えることができている。	疑問点について、物理的な視点で深く考えることができている。	疑問点について、物理的な視点で考えることができている。	疑問点について、考えることができている。